



第 10 課 待ち合わせ

できること具体例

- ① 地図や駅の構内図などを見て、目的地がわかる。
- ② 漢字を使ってメールで待ち合わせ場所の説明ができる。
- ③ 地図を見て、身近な施設の場所がわかる。

とびら

◎とびらに出ている学習漢字

【提出漢字】 駅、上、下、地、道

【読める】 地下鉄、西口、南口、北口

◎教室でのやり取り例

①とびら全体について

T：〈右端で時計に目をやっている人を指して〉この人は何をしていますか。

L：友達を待っています。

T：そうですね。待ち合わせをしています。

②「駅」

T：どこですか。

L：駅、バス乗り場……

T：はい、駅。駅の漢字がありますか。どれですか。

③「上」「下」「地」「道」「西口」「南口」「北口」

T：駅のどこで待ち合わせをしていますか。

L：西口です。

T：そうですね。これから地下鉄に乗りたいです。どこにありますか。

L：……左？

T：ああ、そうですね。〈とびらのイラストを指して〉こちらですね。

〈イラストの看板を指して〉この看板は何の看板ですか。

L：さくら駅の北口です*。

T：さくら駅の北口に行きます。〈「近道」を指して〉これは何ですか。

*学習者がわからなければ、教師が「北」「南」「東」のどれかを聞きます。

書きマス目ページ

◎覚え方のヒントと留意点

101 「駅」

昔は馬が繋がれていたところが駅というイラスト（字源）で覚えるというアイデアを紹介してもいいでしょう。



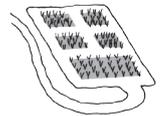
102 「上」・103 「下」

記号としての意味からできた漢字です。「上」はサーフィンに乗っている人、「下」は木の枝にぶら下がっているブランコなどを記号化して紹介してもいいでしょう。また、p.3 にイラストがありますので、それを参照してもいいかもしれません。



109 「道」

「辵」は道を表すことを紹介してください。戦いで勝ち取った敵将の「首」を取って凱旋する様子が字源ですが、人が道を歩いているところなど p.53、81 にイラストがありますので、それを参照してもいいかもしれません。



ポイント

- ①②③⑤…字形の問題
- ④…似ている漢字の問題

練習2 やってみよう

- I 書いてあるものから情報を読み取り、地図とマッチングさせる練習です。ここでの漢字は「駅」「北口」「南口」「銀行」「左」「右」です。「左」「右」は見る人がその建物の方を向いている設定です。学習者が意味を取り違えていないか、見方を間違えていないかを必ず確認してください。グループワークにして、順位を競うなどするとクラスメイトと共有もでき、活性化にもつながるでしょう。
- II 日本人の友達と待ち合わせる場面だということを確認します。会話を聞く前に少し案内図を見る時間を取ってください。まず音声を聞きながら、駅の中の地図を見て自分と相手の位置を確認してもらいます。耳で聞いた言葉がわかっても、その言葉が漢字と結びついているかどうかが大切なので、学習者の答えは必ず記号で確認します。
- ①「にしぐち」と漢字の「西口」を見つけられるかをア～エで答えてもらいます。
 - ②「南口」は2つあります。レストランが「地下鉄の駅」に近いということから、「みなみ」と「ちかてつ」が漢字と結びついているかを確認します
- III この問題は、待ち合わせ場所を間違えてしまったところから始まります。電話で友達に場所を確認し、駅前の地図を見ながら目的地を探します。目印となる「映画館」「小学校」「銀行」「地下鉄」の漢字に着目します。学習者が音声を聞きながら、漢字を見つけているかに注意します。1回の聞き取りで無理なようでしたら、もう一度聞いてもらってください。クラスのレベルによっては、学習者の最寄りの駅周辺の地図などを書いてもらい、漢字を書き込んでみるという活動もできます。

IV 頭の中にある地図を思い浮かべながら、友達にメールで漢字を使って場所が説明できるかを問うタスクです。まず、「あなたは今図書館にいます。あとから来る友達に電話できないので、メールを打ちます」などの状況を確認してください。選択肢の漢字以外にも書ける漢字があれば書いてもらってください。